問1	門弟の曾良と共に東日本を旅行し、『おくのほそ道』を書いた江戸時代の俳人は？		問11	次のうち、重箱読みをするものはどれか？(王様・豚肉・敷金・見本)	
問2	行書で書いた時に「点画の方向」が変化する字は次のうちどれか？(社・雪・空・光)		問12	「会いたくて会いたくてたまらない」に使われている表現技法は何か？	
問3	「徒然草」を執筆し、和歌四天王の一人にも挙げられる隠者は？		問13	「決着がつく」という意味の慣用句は？()がつく	
問4	「空」の部首名は何か？		問14	「人はいさ心もしらずふるさとは花ぞ昔の香ににほひける」で使われている係り結びの係助詞は何か？	
問5	「注意・注目を集める」という意味の慣用句は？()を浴びる		問15	万葉集に「東の野に炎の立つ見えて返り見すれば月傾きぬ」の歌を残している歌人は？	
問6	「つばくらめ空飛びわれは水泳ぐ一つ夕焼けの色に染まりて」という短歌の句切れは？		問16	次のうち、熟語の構成が異なるものはどれか？(縮小・前後・売買・強弱)	
問7	「王様(オウさま)」「台所(ダイどころ)」のように、音読み+訓読みで読む読み方を何という？		問17	「誤りのないように念を押す」という意味の慣用句は？()を刺す	
問8	「けふ」を現代仮名遣いに直さない。		問18	「職業や任務がその人にぴったり合っている」という意味の慣用句は？()につく	
問9	「古池や蛙飛び込む水の音」に使われている表現技法は何か？		問19	「山」「月」のように、物の形をかたどって作られた漢字の成り立ちを何という？	
問10	「口先で人をごまかすこと」という意味の故事成語は？		問20	「敵中で孤立すること」という意味の故事成語は？	

高校入試常識問題(その一)

/20

【解答】

問1	松尾芭蕉	問11	王様
問2	空 ※五画目が折れない	問12	反復(法)
問3	兼好法師	問13	けり ※古文で文末が「けり」で終わることから
問4	あなかんむり	問14	ぞ ※強意の係助詞
問5	脚光	問15	柿本人麻呂
問6	三句切れ	問16	縮小
問7	重箱(じゅうばこ)読み	問17	釘(くぎ)
問8	きょう	問18	板 ※舞台の床板に合っていることから
問9	体言止め	問19	象形
問10	朝三暮四 ※猿にえさをやった時の話	問20	四面楚歌 ※項羽が劉邦に攻められた故事